

本時で育む主な情報活用能力

C-STEP4, D-STEP4
E-STEP4, K-STEP4

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



本時のねらい

- ・既習事項を活かし、フランスで起こった市民革命について、「革命前の社会背景」「革命を後押しする思想と市民たちの行動」「革命後の社会の変化」の3点について、必要な情報を各自で収集し、共同編集機能を活用しながら、整理・分析し、比較・考察することを通し、市民革命が社会にもたらした歴史的意義について考える。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・Teamsを活用し、生徒が事前に基礎となる知識を確認することで、既存の知識を「活用」することを授業の中心として据える。
- ・オクリンクプラスを活用することで、友達の意見をリアルタイムで閲覧することを通し、気づきや発見を促す。
- ・オクリンクプラスの機能を活用することにより、教員・生徒双方が提出状況を把握できる。また、フィードバック機能の活用により、より細かな指導が可能となる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Teams
- ・ミライシード(オクリンクプラス)
- ・Forms

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○前時の内容を確認する。 (イギリス市民革命[清教徒革命・名誉革命]・アメリカ独立革命) ・前時の復習クイズに事前に取り組み、既習事項を確認しておく。【写真1】 ○本時の課題「他の市民革命と比べてフランスでの革命を調べよう」を共有する。 ・市民革命はどのような社会背景のもとで起こるのか、自分の考えをTeamsに投稿し、本時の課題を共有する。	・Formsでクイズ形式にすることで、すべての生徒が課題に取り組みやすくなる。また、生徒の理解度や定着度を瞬時に把握できるので事後の支援にもつなげやすい。
展開 (30分)	○フランスで、「革命前の社会背景」「革命を後押しする思想と市民たちの行動」「革命後の社会の変化」について情報収集を行い、オクリンクプラスのみんなのボード上にカードを作成する。(テーマごとにカードの色を変える) ○既習事項(イギリス・アメリカの市民革命)と比較しながら、フランスで起こった市民革命について整理・分析し、オクリンクプラス上のカードにまとめる。【写真2】	・生徒たちの考えを、Teamsに「投稿」させることで、全体の考えを可視化し、本時の課題を全体共有させやすい。 ・画面ミラーリング機能を使い、適宜、電子黒板で生徒が情報収集したカードを全体共有しながら、的確に活動へアドバイスを行うことができる。 ・オクリンクプラスの活用により、他者の作業状況をいつでも見ることができるので、必要に応じて自身のカードに加筆・修正ができ、気づきや発見を促すことができる。
まとめ (10分)	○他者が作成したカードを閲覧し、相互評価を行う。(リアクションボタン、コメント機能を利用する) ○本時のふり返り(感じたこと・考えたこと)をTeamsに投稿する。【写真3】	・リアルタイムに相互評価の機会を通し、学習への動機づけの向上が期待できる。 ・本時のふり返りをTeamsのチャットで共有することにより、全員が本時の課題について、理解することが期待できる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】Formsで既習事項の理解度を全体で共有する



【写真2】収集した情報をオクリンクプラス上のカードにまとめる



【写真3】本時のふり返りをTeamsに投稿する

児童生徒の反応や変容

自分の意見と他者の意見をTeamsのチャットで全体共有することを通して、本時の課題(めあて)を把握し、意欲的に学習課題に取り組む生徒が増えた。また、オクリンクプラス上での共同編集機能を活用することで、他者の取り組み状況も参考としながら、学習課題に対し、多面的・多角的に考察し、考えをまとめることができる生徒の割合が増えた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

Teamsとオクリンクプラスを併用することで、家庭学習から学習のまとめまで一貫してタブレットを活用し、生徒たちが主体的に学べるように配慮した。また、リアルタイムに他者の意見や作業を閲覧できるようにすることで、すべての生徒がそれらも参考にして課題に取り組むことができるように工夫した。